

予算特別委員会

令和4年度 一般会計予算

予算特別委員会が設置され、3月9日から11日にわたって、令和4年度花巻市一般会計予算など6件の予算について審査を行いました。

令和4年度一般会計当初予算は、前年度当初予算比1.5%減(7億3396万円減)の481億6466万円となっております。

令和4年度予算は、市長選挙が行われたことから、扶助費や公債費等の義務的経費の計上を基本とした骨格予算として編成しています。ただし、市民生活に直結する福祉や教育施策等については骨格予算に盛り込んで編成しています。今後のまちづくりに向けた政策的な経費等は令和4年度早期に肉付予算として補正予算が計上される予定です。審査における主な質疑、答弁の内容は次のとおりです。

◎非核平和推進事業

【質問】 平和の尊さを感じる機会として新たな視点での平和学習会や平和教室等の開催が必要ではないか？

【答弁】 子どもたちに戦争のない平和な世界の実現の意識づけを目的とした事業であることから、より効果的に事業を進めたい。

◎市民参画・協働推進事業

【質問】 課題を把握し将来像を描くためのワークショップにはうまくコーディネートするファシリテーターが重要である。市民ファシリテーター養成などの取り組みの現状は？

【答弁】 現在、市民ファシリテーターは活動していない。

◎保育サービス向上支援事業

【質問】 障がい児保育事業補助金の内容は？

【答弁】 障がいのある児童を受け入れる保育施設または障がい児を受け入れて保育士を加配する保育施設に対し、運営費の補助を行う事業である。

◎高齢者福祉サービス基盤整備事業

【質問】 認知症高齢者グループホームの整備予定地は？

【答弁】 花巻地域内に整備予定であったが、法人の都合で実施できず、現在は未定となっている。

【質問】 認知症高齢者グループホームの施設数と休止している施設数およびその理由は？

◎男女共同参画推進事業
【質問】 生活と仕事の調和、ワークライフバランスへの取り組み状況は？

【答弁】 セミナーの開催や啓発チラシ配布など広報活動による周知を今後も継続していく。

◎移住・定住促進等対策事業

【質問】 中古住宅改修費をリモートワーク関係の事務所等も対象とする考えは？

【答弁】 現在は定住を目的としているが、花巻市に住むという前提で事務所等に対する支援も検討していく。

◎小学生・中学生・高校生等の医療費助成

【質問】 医療費助成制度所得制限撤廃に向けたシステム改修業務のスケジュールは？

【答弁】 現在17施設あり、人材を確保できず休止している施設は1施設である。

【質問】 グループホームの待機者数は？

【答弁】 令和3年8月1日現在で26人となっている。

◎健康教育相談事業

【質問】 花巻市自殺対策計画が策定されており、目標値が掲げられている。全国的に岩手県は自殺者が多いようだが、市の対応と目標値および推移は？

【答弁】 ゲートキーパーの養成で相談員を増やすこと、「こころの体温計」により心理状況を確認していただくことなどに取り組んでいる。自殺者の推移では、令和元年度は自殺者を22人以下に抑えよとの目標値に対し24人、令和2年度は20人の目標値に対し26人、令

【答弁】 拡充対象データの抽出や改修に伴う動作確認、県の国保システムとの連携など、少なくとも1年程度の準備期間が必要である。

◎シティプロモーション推進事業

【質問】 恋人の聖地の場所と事業内容は？

【答弁】 NPO法人地域活性化支援センターが行っている観光地域の広域連携を目的に行っている事業で、花巻市では花巻温泉と愛隣館が恋人の聖地サテライトとして認定されている。



恋人の聖地に市内2カ所が認定されています(写真は愛隣館)

◎公共交通確保対策事業
【質問】 予約乗り合いバス体験試乗会の内容は？

【答弁】 免許返納予定者や普段車を運転しない方に乗り合いバスの制度や利用方法を説明し、参加者が電話予約を行い、スパー等の目的地で用事を済ませ帰宅する体験事業。利用登録者の増加と利用促進を目的としている。

◎福祉相談体制充実事業

【質問】 民生相談の件数が大幅に増えており、民生委員児童委員が対応していると思うが委員定数は確保されているか。大変な業務だが金銭面で厚く支援できないか？

【答弁】 委員の定数は246人で欠員はない。委員の報酬は年額7万9000円で県内では3番目。現在引き上げは考えていないが、県内の状況を見ながら検討したい。

◎新型コロナウイルスワクチン接種事業

【質問】 花巻市予防接種健康被害調査委員会の経費が計上されているが、委員会の体制と実施状況は？

【答弁】 新型コロナウイルスワクチン接種の副反応の審査で、中部保健所所長、医師会推薦の医師、県から推薦された医師で構成。市町村で審査し意見を付して県および国へ進達する流れとなっている。令和3年度は2件申請があり、そのうち必要書類が整った1件を審査し、県に進達を行うところである。

◎医療用補正具購入支援事業

【質問】 がん患者に対する医療用補正具の購入支援の内容は？

【答弁】 医療用ウィッグは令和3年度に補助上限額を2万円から3万円に引き上げ、令和4年度はこれに追加して乳房補正具も上限2万円として制度化し支援する。

◎周産期医療確保対策事業

【質問】 総合花巻病院の産科開設予定は？
【答弁】 医師不足および産科スタッフの確保ができないことから、産科、小児科の開設は見込めない。



相談窓口は長寿福祉課に設置されます